

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3372201024		
法人名	有限会社敬仁会		
事業所名	グループホーム万富の家		
所在地	岡山県岡山市東区瀬戸町万富1908-1		
自己評価作成日	令和2年1月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ライフサポート		
所在地	岡山市北区南方2丁目13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO会館		
訪問調査日	令和2年2月3日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○利用者が毎日いきいきとした生活を送って頂く。地域柄静かな場所なので毎日穏やかで安心して暮らしていただけるような環境づくり。季節を感じて頂ける様なことをしたり、利用者にもして頂く。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年の訪問時から一番の変化は、12年間このホームを支えてきた前管理者が家庭の事情で退職し、代わってこれまで職員として勤務していた社長の息子さんが6月から新管理者として就任していた事だった。経営者でもある社長一家の次男坊が年は若いリーダーとして立派に成長し、「前管理者のしてきた事を引き継いでいくと同時に、自分のカラーも出していきたい」と今後の抱負を語ってくれ、ベテランの女性職員さん達と共に頑張っている光景が眩しく感じられた。社長もこれまでと違い、今ではこのホームの一職員として従事されているとの事。近くにある「万富の郷」にはお母さんと長男さんが勤務。「万富の家」にはお父さんと次男さんが勤務。家族が力を合わせ、素晴らしい職員さん達と共に、この地域の福祉の向上や発展の為に拠点となり貢献している素晴らしいホームと思う。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホールに記載し、また会議等で話す機会を設け、より理念に沿うように仕事をしている。	施設理念・方針をリビングに掲げて認識・共有しながら、もう一つの我が家としてその人らしい生活の場を作る為に、利用者が出来る事をしてもらいながら活気のある楽しい生活の実現に向けて日々職員は取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	イベントでは夏祭りや餅つき大会で交流をはかっている。日常では、日光浴に出た時や散歩に出た際あいさつをしている。	「万富の郷」と共に開設以来地域との付き合いを大事にしており、夏祭りには地域住民、子供、家族等100名近い人の参加があり、大盛況であった。町内会長とは何かあったら声を掛け合う関係であり、「万富の家」は地域の一員としての地位をしっかりと築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区文化祭(万富公民館)に参加し出品展示見学に行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日頃の利用者の活動状況等を報告している。行事などへの参加、ボランティア依頼など地域に密着した活動、交流を行っている。	2ヶ月に1回運営推進会議を開催しており、町内会長、民生委員、地域包括、家族等の参加がある。ホームの現状報告の他、身体拘束に関する事や災害対策について等を話し合っているのが議事録から確認出来た。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の時など包括支援センター担当者に現場の状況を理解していただきアドバイス等協力を得ている。	地域包括の職員とは定期的に運営推進会議で顔を合わせる機会もあり、様々な情報提供を受けたり、運営に関する相談をする事もある。市の担当者とも介護保険や書類に関する事等、何かあると相談し助言や指導をいただいている。	これまでも運営推進会議の意見交換等の記録の仕方や内容について目標達成計画に挙げ取り組んできているが、まだ内容が不十分と思えるので、職員や家族、誰が見てもよく分かるような議事録として欲しい。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束委員会を中心に職員全員で研修し知識を深め、職員が対応方法を徹底し、自由な生活を支援している。	身体拘束禁止の対象となるような具体的な行為は一切ないが、外に出たい人には納得いくまで散歩につき合い気分転換をもらっている。身体拘束やスピーチロック等の勉強会をして議事録を作成し、職員間でよく認識をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体にできるあざ、傷を発見したとき職員で確認しあい原因等話し合い防止に努めている。家族の方に報告している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	他事業所の成年後見人の実例を聞き制度の理解に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時施設の方針などを話し対応可能な範囲について丁寧に時間をかけて説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者家族に月一度「万富の家便り」で近況をお知らせしている。電話、面会時にコミュニケーションを図り意見を頂いている。	日頃から家族の面会も多く、家族と直接話し合う機会も多い。毎月送付しているお便りで、各利用者の生活の様子や健康状態、本人の言葉等を担当者が記入してお知らせしている。面会時だけでなく必要に応じて電話等で連絡を取り合っている。	毎月担当者が書いているお便りで、行事や日々の生活の様子がよく分かり家族にも喜ばれているが、出来る事なら文字ばかりの文章にプラスして生活の一コマの本人の写真を掲載すると、より親密感が湧くお便りになると思う。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の時や日頃から職員同士コミュニケーションを図り案を出し合っている。	今年度に入り管理者の交代があったが、勤務年数の長い職員も多くお互いに気心が知れている間柄なので、職員会議や日頃の会話などでも言いたい事を言い合える雰囲気がある。働き方改革として勤務時間の時短を取り入れたと聞いた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は個々を理解し職員の相談を受け向上心を持てるように心がけている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修で学びトレーニングをし資質向上を進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	情報交換の施設があり連絡を取り合っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期入所の方にはコミュニケーションを密にして他入居者と職員との信頼関係が持てるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの相談には耳を傾け入居者の状態を細かく伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の思いと利用者の状況を確認し合い、改善に向けた必要なサービス提供に心掛けている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と寄りそう時間を多くしコミュニケーションなどはかり理解しスタッフと共有している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃の状態を家族に報告し、入所者、職員の思いを家族に伝え協力関係が築けている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人など施設へ遊び、面会に来ていただき交流ができています。	夫婦で入所していた人達の場合は、ホームが家族の集う場になっていたし、他の人達も日頃から家族の面会が多い。受診の付き添い等でよく家族と一緒に時間を過ごしており、懐かしい場所へ立ち寄ったり、時には外食して帰る等、馴染みの関係が継続出来ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1人1人を理解し過ごしやすい場所をつくり楽しんで頂けるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	情報提供を得て連携に心掛けている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で本人の意向を見出している。心身の状況の違いなど個人を尊重した介護法で対応している。	種々の記録を見ても本人の言葉をよく拾っており、して欲しい事、して欲しくない事等その人の気持ちをよく把握して職員間で共有していると思う。日頃の会話の中から引き出した意向や希望をケアプランにつなげるように努めている。	介護記録の項目にはS・O・A・Fがあるが、A:判断はたまに、F:実施・計画の記述は殆どないので、もっと有効に活用してはどうか。この4つのプロセスから課題が見えてきて次のケアプランにつながりやすいと思う。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や担当ケアマネージャーより情報を収集し入所してからの対応を検討している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの性格や心身の状況にあわせ無理のない生活を送って頂いている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	身体、精神状態を話し合い、家族と職員と相談して最善な計画で実践している。	本人の言葉をそのまま意向として記入し、ニーズ(課題)、目標、サービス内容に連動させている。利用者の身体面・精神面をよく把握し職員間で話し合っケアプランを作成しており、一人ひとりの気持ちに寄り添った「心のケア」を重視したプランになっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝夕の申し送りのとき心身状況、会話などの情報を伝え介護計画、実践に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体調の変化を看護師に相談して、かかりつけ医に連絡してアドバイスをもらい受診、往診、薬受けの代行をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	二ヶ月に一回の運営推進会議で夏祭り、餅つき大会や秋祭りなど地区の方々に行事の協力、協働で楽しみを支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望されるかかりつけ医になっている。家族の受診同行、また職員も同行することもある。かかりつけ医と連携し適切な医療が受けられるようにしている。	ホームの協力医の定期的な往診がある他、希望する人には歯科往診もある。整形外科、眼科、その他の受診には原則家族が付き添っているが、難しい場合は職員が同行する場合もある。職員の看護師の存在はとても心強い。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護、介護は密に連携が取れて十分な支援ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院との入院時の情報交換はできている。対応可能な段階で早期に退院ができるよう医師と相談する機会をもっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医師と家族又は職員で連携をとり十分な話し合いをし、納得できる介護、支援をしている。	夫婦で入所していた夫の方が家族や職員に見守られながらこの3月に旅立って行った。医療機関と連携をしながら、職員の看護師や経験豊富な前管理者の指導の下、職員が一丸となって看取りを実施したと聞いた。今後も希望があれば出来る限り支援をしていこうと思っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルは掲示し会議や休憩時間も職員同士で話し合いはできている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回入所者とともに訓練している。運営推進会議で地区の協力をお願いしている。	定期的に火災や水害を想定した日中と夜間想定避難訓練をしており、避難経路や誘導方法等を確認しながら利用者と共に訓練をしている。地域の人との協力体制や管理者兄弟が地元の消防団員という事もあり、日頃からよく連携が取れている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の日頃の行動や性格、言動を把握し性格を把握し対応している。	本人の自署があるケアプランがあるのを見ても、ひとりの人間として尊重しているのが伺える。以前はそのままだった居室のドアの透明なガラス部分に、現在はスモークテープを貼り、プライバシーへの配慮を施している等、数々の取り組みや工夫をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望に合わせ要望を聞き職員と相談して対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望に合わせ要望を聞き職員と相談して対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人と相談したり、家族に以前の事を聞いたりし季節に合った服装をして頂いて、一緒に選んでいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜を使い献立をたて、食べたいものを聞きメニューに入れている。野菜のしょうゆなど出来る事を手伝ってもらっている。台所に入って頂き料理の手伝いや味付けをいただいている。	食事は調理の効率化を図る為、食材の外注や時にはアクティブ(冷凍)を利用する事もあるが、基本は職員の手作りとしている。家事が得意な人はいつも積極的に厨房に入り手伝ってくれるそう。社長が畑で作る野菜が食卓に出る事もよくあり今日のおかずの一品となっていた。会話が弾む楽しい食事風景だった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量など経過記録に記入し把握している。体調に合わせて刻み、粥、ペーストなどで工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入所者の状態に応じた歯磨きの声掛け誘導している。入れ歯洗浄も実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄票を付けて個人のトイレサイクルを把握しトイレ誘導や声掛け、パット交換を行っている。	現在は排泄が自立で布パンツという人はいないが、定時誘導や排泄のサインを見逃さず小まめに声かけやトイレ誘導をして自立を促している。夜間ポータブルトイレを使用している人は2名。失敗があっても清潔保持を保つように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、牛乳と一日の水分摂取をしてもらう声かけをしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	二日に一回は入浴していただいている。希望も聞き体調に合わせた入浴方法にしている。便や尿で汚れた時には続いて入って頂いている。	日曜日以外、曜日に分けて全員が週3回は入浴出来るようにしている。その人の状態によって浴槽に入れる人、シャワー浴と足浴で対応している人等様々だが、拒否のある人はあまりいないと聞いた。コミュニケーションを取りながら楽しい入浴タイムになるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	心身の状態に応じ休憩をしていただき、夜間ぐっすり眠れるように日中の活動に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルで把握できるようにしている。用法、用量の変更の際は主治医、看護師、職員と連携支援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあった得意なことを発揮してもらっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節によってドライブツアーや外気浴や散歩に出掛けている。	三徳園(小鳥の森)へのドライブツアーには全員が参加出来たし、花見、紅葉狩り等季節折々の外出も楽しんでいる。近くにある同法人の「万富の郷」と合同イベントする事もあり、歩いて行くのに程良い距離なので、散歩を兼ねてのお出かけは良い気分転換になっている。家族の協力もあり個別の外出支援もよくしている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しいもの等訴えがあれば家族に依頼し買ってもらっている。行けるときには職員と一緒に買い物に外出している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの訴えがある際は電話を使用してもらっている。家族、友人からの手紙等もある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある置物や貼り絵などを入所者と一緒に作成している。気の合う利用者同士を並べく近くにしている。	季節ごとの行事を大切に、今日の午前中は節分の豆まきをして大いに盛り上がった。皆で歌を歌ったり、塗り絵やクイズゲームをする等、余暇活動も活発に行っており、それぞれソファやテーブルで気の合う人同士でおしゃべりしている場面も見た。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ、テーブルを置き、居場所の工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人らしく写真や置物を飾り心地よい空間、雰囲気作りをしている。	フローリングの居室の中で畳を敷いてある部屋が一室あり、布団を敷いて起居する人やマイペースで自室で過ごす人もいて、その人の生活習慣や様々な理由で安全性を重視し、落ち着いて過ごせる環境作りをしている。使い慣れた物を持ち込み個性が滲み出ている居室が多い。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、手摺、スロープなどを設置している。		